



# 椎の木

令和8年3月号

朝霞市立朝霞第八小学校  
〒351-0012 朝霞市栄町5-1-4 1  
TEL:048-465-8381  
校長 岩崎 英雄

【目指す学校像】教育は子供の未来づくり ～児童に未来を生き抜く力の基礎を育てる学校～

## 全力で挑む！

先日実施しました6年生の卒業発表・懇談会には、多くの保護者の皆様に御来校いただきありがとうございました。3月は1～5年生わかば学級の授業参観・懇談会が行われます。参観を通して、この一年間の子供たちの成長した姿を見ていただければ幸いです。ところで、2月号で書きました「落としてはいけないこと」について、家庭では話題となりましたでしょうか？これからも学校での出来事がお家でもたくさん話題になればいいなと思います。

2月は、雪が降ったり20度を超える日もあったりと、寒暖差が激しく体調管理も難しい月でした。インフルエンザ等の感染症が減り、欠席する児童も減少はしてきましたが、いよいよラストパートです。引き続きの健康管理をお願いします。

さて、今月は埼玉県ゆかりの三偉人が歩んだ道を追ってみたいと思います。塙保己一（はなわほきいち）は、延享3年（1746）に現在の本庄市に生まれました。7歳で病気により失明しますが、その後、江戸に



塙 保己一

渋沢 栄一

荻野 吟子

「太平記読み」という物語を語って生計を立てている人たちがいるという話を聞きます。学問好きで記憶力が抜群であった保己一は、「自分にもできる仕事がある」と考え、江戸に出ることを決心し、15歳の時に江戸へ出て、学問の道を志します。安永8年（1779）から全国にある多くの古い記録や史料を集めて、分類、整理を41年間にわたって666冊にまとめ、『群書類従』として出版します。後に、ヘレン・ケラーが来日した時、塙保己一を「私の人生の目標とした人であり、心の支えです」と語っています。

2人目はご存じ、渋沢栄一（しぶさわえいいち）です。栄一は、天保11年（1840）に現在の深谷市で生まれました。27歳で渡欧し、先進諸国の経済制度や近代的技術を目の当たりにします。帰国後、明治新政府に出仕し、租税事務、新貨条例、国立銀行条例等の起草立案を行いました。その後実業界へ転進し、第一国立銀行をはじめ、鉄道、製紙、造船等500社もの企業の設立・育成に関わりました。また、晩年は福祉や教育等の社会事業にも熱心に取り組み、600余りの社会事業に力を注ぎました。外務省等と連携し、青い目の人形を通してアメリカと国際交流を図った話は有名ですね。



なかよし発表会でのわかば学級のすてきな演奏

そして、3人目、荻野吟子（おぎのぎんこ）は、嘉永4年（1851）に現在の熊谷市で生まれました。東京の病院に入院し、婦人科の治療を受けました。このことがきっかけで、女性医師の必要性を痛感し、医師を目指して勉学に励みました。しかし、当時は医師開業試験が女性に認められておらず、そのため制度改革に取り組みました。自身で拓いた試験の道を一回目で合格し、日本で最初の公認女性医師となりました。その後も女性の地位向上や衛生知識の普及にも貢献しました。3人とも、高い志をもち、その実現に全力で挑んだことが伝わってきます。3月は進級・卒業の季節です。全ての児童が、この1年間の成長を糧に、次のステージに向かって目標を立て、

全力で挑んでくれることを期待しています。そして、卒業を迎える6年生には、大きな志をもって、その実現に向けて全力で挑んでいってくれることを願っています。頑張れ6年生！  
頑張れ八小の子供たち！！



6年生 卒業発表会と招待状